

人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（例：血液など）や診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

試料・情報の利用目的及び利用方法	研究の名称 術前 4D flow MRI 解析を用いた瘤分枝塞栓術による腹部大動脈瘤ステントグラフト内挿術後の瘤径増大予防の前向き検討
	研究の対象 2013年1月1日から2021年3月31日の期間で腹部大動脈瘤と診断を受け、術前に造影MRI検査（4D flow MRI）を施行した上で浜松医科大学附属病院で腹部ステントグラフト内挿術の手術加療を受けた患者様
	研究の目的 腹部ステントグラフト術後の合併症であるエンドリークの中に分枝からの逆流に起因するものがあります（Typell エンドリーク）。2020年に腹部大動脈瘤に対する診療・治療のガイドラインが9年ぶりに改定されました。その中で、術前に瘤分枝である下腸間膜動脈を塞栓することでTypell エンドリークを予防できる可能性が示唆されています。しかし具体的な基準は示されていません。 当科では4D flow MRI 検査を用いて血行動態の解析を行い、瘤分枝の血流が多い症例に分枝塞栓術を施行することで術後の瘤径の拡大が抑制されることを検討し、術前の4D flow MRI 検査を用いた治療方針の決定の妥当性を明らかにすることを目的としています。
	研究の期間 研究機関の長による実施承認日から2027年3月31日まで
	他の機関に提供する場合 には、その方法 この研究では外部へ情報を提供しません。

人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書

<p>利用し、又は提供する試料・情報の項目</p>	<p>研究に使用する試料・情報 年齢、性別、既往歴、服薬状況等 手術内容 CT 検査、4D flow MRI 検査 有害事象の有無</p>
<p>利用する者の範囲</p>	<p>機関名および責任者名 浜松医科大学 外科学第二講座 血管外科 佐野 真規</p>
<p>試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称</p>	<p>浜松医科大学 外科学第二講座 血管外科 佐野 真規</p>
<p>試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止（受付方法含む）</p>	<p>あなたの情報を研究に使用することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用を停止することができます。連絡方法は、問い合わせ先に記載のある電話もしくはメールでお願いします。</p>
<p>資料の入手または閲覧</p>	<p>この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。</p>
<p>情報の開示</p>	<p>あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。 また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示いたしません。</p>
<p>問い合わせ先</p>	<p>〒431-3192 浜松市東区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学</p>

人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書

部署名： 外科学第二講座 血管外科

担当者： 佐野真規、遠藤佑介

TEL： 053-435-2279（医局）

E-mail： m.sano@hama-med.ac.jp